2012年3月1日発行　早蕨　第467号　毎月1日発行（昭和62年2月21日第三種郵便物認可）

さわらび ホームページ http://www.sawarabi.or.jp

みんなの力でみんなの幸せを

sawarabi さわらび

2 医学講座 老いと老化～からだの精緻なしくみと心の置きどころの大切さ～
◆福祉村病院院長　小橋　修

6 特集 解説　改正介護保険

2012 3
vol.467

医学講話

老いと老化
～からだの精緻なしくみと心の置きどころの大切さ～

福祉村病院
院長
小橋　修

人が年をとっていく時は、体から衰えだす。視力が落ちた、耳が聞こえなくなった、精力が落ちた、腰が痛くなった、体の節々が痛む、よいしょといって立ち上がる、少し歩くと息切れがする、坂道や階段を上るのが少しきつくなった、途中で休まないといけなくなったなどと体の衰えはすぐ気付く。女性だと、肌の張りと潤いに衰えを感じるようになる。このように体の隅々まで老いと老化は進んでいく。「人生50年」のころは、体の具合が悪いなどというとたるんでいるからだ、「病は気から」とよくいわれたもの。「人生80年」ともなると、病は気からといっておれず、「病は年から」というのも真実味を帯びてくる。

「ほらあれ」と名前がすぐに出なくなってくるのは、年のせいとは言っても記憶をつかさどる神経細胞の死滅が原因。認知症には適度な運動が一番有効といわれているが、運動によって記憶や学習を司る神経の再生が促進されるという研究もある。高度な知識・知能は意外と保たれており、同じ年齢でも見るからに老いを感じさせる人もいるかと思えば、気力の充実した人がいるのも不思議といえば不思議。その秘密はどこにあるのだろうか。

私たちは、物を飲み込む嚥下機能、ものをしゃべる発語機能、自然に教えてくれる排便排尿機能などは自律神経が調節している。衰えは、歩くスピードと歩幅の調節、階段や坂道の上り下りのバランス感覚、物をよく落とす、けつまずくなどのように年を追うごとに不具合が見られるようになる。これらの運動機能は、睡眠のように自然に獲得したリズムとして、多くは生まれた時から備わっている。意識的に脳からのトップダウンの命令にのみ従っているのではなく、疲れた時はぐっすり眠るように、体から脳への情報伝達によっても微妙に調整されている。一方食べ物の見た目、匂い、味、食感を感じる感覚機能の他にも、食べ物が消化管に入ると意識されなくとも自然と腸の動きが活発になるのは物理的、あるいは化学的な刺激が胃腸壁に存在する受容器を刺激し、その刺激によって自律神経がうまく機能しているから出来ること。その証拠に、脳死状態や植物人間になって高次の意識・感覚がなくても、腸の動きが正常に行われるのは脊髄神経のレベルでうまく機能調整がなされているからである。おなかがすいた、もう満腹だという感覚にしても、多分半分はいろいろな感覚器官から受ける脳の機能、半分は局所の消化管の機能が関係しているものと思われる。

心臓や肺の働きも、走った時のことを考えればすぐに気づくように体の要求に従って血圧も呼吸機能も絶妙に調整されている。急に立ち上がったり、急に顔をもたげたりすると血圧の調節が追い付かずめまいがしたり、目の前が真っ暗になったりするが、脳血流の閉塞による脳梗塞では、間髪をいれず血流を再開させるために血管内皮細胞からホルモンが出て血圧をあげるように体は働く。変温動物は、外界の温度に従って体温が変動するが、私たちの体温の調節は温度調節中枢で大変見事に調整されている。食べ物を食べて胃腸の筋肉運動をしても、体を動かす運動をしても体温が上がるなど身体機能の運動によっても調整されてもいる。このように生命維持のために体は見事な無意識の統制下に調和して働いている。

不老長寿、だれしも老いたくないと思っているが、心のどこかで仕方が

ないとあきらめてもいる。これは大脳皮質という新しい脳のなせる業。この大脳皮質の発達によってこの地球を人類が支配出来ている。美しいものを見て、胸をときめかす、赤面する、胸が高鳴る、心臓が早馬のように打つなどや、怖いものを見て、怖い音を聞いて、体がすくんでしまうなどからもすぐに分かるように、外部からの刺激に応じて、脳の中で、各自が学習したものと照らし合わせて、強く反応したり、弱く反応したり、無視したりのステップが複雑に行われて、意識にのぼらないスピードで心臓や呼吸機能や、手足の動きがコントロールされる。

　老化を見る変わったテスト。「あ、い、う、え、お」を頭の中で1分間に何度言えますか。次に同じスピードで声に出して見てください。若いころはほぼ同じスピードで言えたでしょうが年を取るにつれて回数がぐっと減ってきます。これは発語にかかわる沢山の筋肉の衰えが主原因です。次に、あなたの前方7メートルの所に棒のバーがあると考えてください。私たちの体は、またげるバーの高さの範囲はこの程度まで、という身体感覚を持っています。その感覚と目で見た遠くのバーの高さの感覚が、実際にまたげるものと同じか違うかを調べるために、「7メートル先のバーを①またぐか飛び越えるか、②胸より高いので、頭を下げてくぐるか、①②どちらを選ぶか選択してください。棒の高さを少しずつ上下させます。見ただけでどちらか選んでもらいます。続いて実際に試してもらいます。この実験を何度も何度も繰り返します。」このような実験をすると、20代から50代まではほとんど7メートル先から見た感じと実際とがほとんどぴったりするくらい一致します。ところが60歳を超えた人たちは見た感じでは若い人とそれほど変わりませんが、実際は間違っていて大きくばらついて、見ると実際との間に大きなかい離が見られます。これが老いの実態です。このように見た感覚と実際にできるかどうかの身体機能の発達はすでに3歳ごろに認められるそうです。テーブルの上のおいしいものに手が届くか、体を乗り出してとらないといけないのかは3歳児に既にみただけで判断できます。したがってこの機能はかなりの高齢まで維持されているのですが、身体機能の方の衰えで、実際にやってみると失敗が増えます。これが老いの実態です。さらに筋肉の機能低下と、関節の機能障害が加わるためベッドから落ちたり、転んだりが起こってきます。薬の作用でふらついたり転倒するのとは違います。

**心と体の処方箋　心頭滅却すれば火もまた涼しのように、心、気の持ちようで多くのことが変わります。一般に、病は気からという「気」にばかり心が向きますが、もっとポジティブに「気」を考えましょう。遠くを毎日毎日じっと目を凝らしていると、視力がよくなるように、じっと耳を澄ませて聞くことに集中すると、音楽家のように耳はよくなります。3歳までに訓練すると誰でも絶対音感が身につくといいます。先日天才は作られるというテレビ番組で、チェスの天才家族の話が出ていました。幼少時に訓練に訓練を重ねるとチェスの駒の動きがすべて視覚野に記憶されて絵を見るように場面が思い描かれ、結局チェスの試合に勝つと言います。訓練によってフルに神経回路が活用されて天才のようにふるまうことができるようになるということです。東洋には、優れた知恵と技があります。自律神経の諸機能が衰えてゆくのを、ヨガやイメージトレーニングを加えることによってより有効に機能させることができます。思いが実現するという素晴らしい東洋の知恵もあります。心の置きどころ、不安で思い悩むと悩みの人生を歩みます。楽しい喜びに満ちた思いを描けば豊かな人生を歩むことができます。私たちの体と心の素晴らしい力を信じて、バランスのとれた食事とゆっくり体操などを習慣化し、目標を持って生き生きと、老いを感じさせない、騒がずあわてず、落ち着いて平常心で暮らすことを目指しましょう。

長寿医学研究所
研究通信
news of study
Vol. 47

福祉村病院神経病理研究所　所長
橋詰　良夫

【ビタミンB1欠乏とウエルニッケ脳症】

ウエルニッケ脳症

1881年、ドイツ人医師Karl Wernicke(1848-1905)は精神症状、眼症状、運動失調を3主徴とする3症例を記載し、そのうち2例はアルコール中毒症であった。後に本病態は様々な栄養不良と関係し、アルコール中毒症以外の原因でも生ずる病態が注目され、ウエルニッケ脳症と呼ばれるようになった。

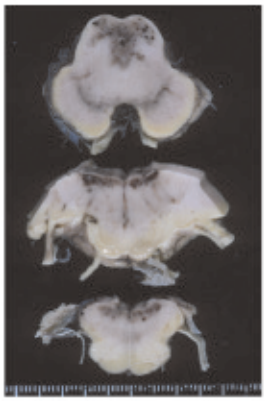
ウエルニッケ脳症は主として急性期の病態であり、慢性期の病態は見当識障害、健忘、作話を示すコルサコフ症候群と理解される場合が多く、その発症は全ての人種、性、年齢を問わず発症する。病因的にはビタミンB1欠乏症と関連した栄養障害性の代謝性中枢神経疾患で、治療可能な神経疾患であり、早期の診断と治療が期待される。

ビタミンB1

ビタミンB1の適正量は男性0.8-1.0mg/day、女性0.7-0.8mg/dayといわれ、妊娠中は1.5mg/dayへと上昇する。食物中のビタミンB1は小腸上部で吸収され組織内に貯えられる。通常の体内貯蔵量は25-30mgで、摂取されなければ約18日で枯渇するといわれる。ビタミンB1欠乏による神経組織障害機序についてはB1が炭水化物代謝における重要なトランスケトラーゼなどの補酵素と作用しており、その欠乏は大脳のブドウ糖代謝の減少を引き起こし、エネルギー代謝の障害や乳酸増加によるアシドーシスとそれに引き続く血液脳関門の破綻による組織の浮腫、循環障害を引き起こすことが指摘されているがまだ不明な点が多い。

ウエルニッケ脳症の病理

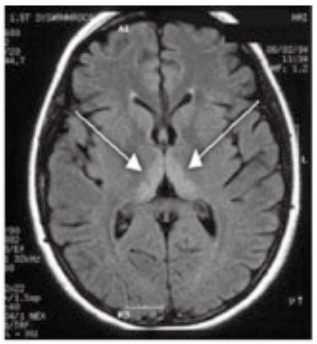
脳は肉眼的には萎縮を示すことなく、脳重量の減少はない。外表面からは乳頭体の萎縮を認める。割面では乳頭体、第3脳室周囲、中脳水道周囲、第4脳室周囲に点状出血と壊死を認める(図1)。この所見は本症に特異的な所見であり、肉眼診断が可能である。組織学的には急性期の症例では乳頭体は中心部で点状出血を示し、組織が海綿状で、毛細血管内皮細胞が腫大することにより、血管が目立ち、多数のマクロファージの浸潤を認める。経過が長い例では乳頭体は萎縮し、ヘモジデリンの沈着と反応性のアストロサイトの増殖を認める。第3脳室周囲、中脳水道周囲、第4脳室周囲にも乳頭体と同様の所見を認める。



●図1　中脳水道周囲、第4脳室周囲の点状出血と壊死

ウエルニッケ脳症の診断

ウエルニッケ脳症を引き起こす基礎疾患としては慢性アルコール中毒以外にも重症妊娠悪阻、消化器系の悪性腫瘍患者、高齢者や認知症で経口摂取が十分できない人が問題となる。特徴的な意識障害、眼球運動障害を見逃さず、血中ビタミンB1値の測定が重要である。神経放射線学的画像診断としては、CTでは異常が描出できず、MRIでの第3脳室周囲、脳幹被蓋、乳頭体のT2高信号病変(図2)が診断にとって重要であり、当院でもMRI導入によるウエルニッケ脳症の診断精度の上昇が期待される。



●図2　MRI T2強調画像。第3脳室周囲、視床内側の高吸収域

おわりに

福祉村病院神経病理研究所ではウエルニッケ脳症における病態、病変選択性の機序や画像所見と病理所見との関連性、臨床症状の責任病巣などについてさらなる検索を続けてゆく予定です。

障害者支援施設 珠藻荘移転改築について

～平成24年3月29日に新しい珠藻荘が開所いたします～

昨年開所31年目を迎えた珠藻荘ですが、より新しく、そして利用者個々のニーズに合わせられる設備・環境を整えるべく、3月29日に新たな珠藻荘として移転改築しオープンいたします。

新珠藻荘のコンセプトについて

社会福祉法人さわらび会専務理事　**山本ゆかり**

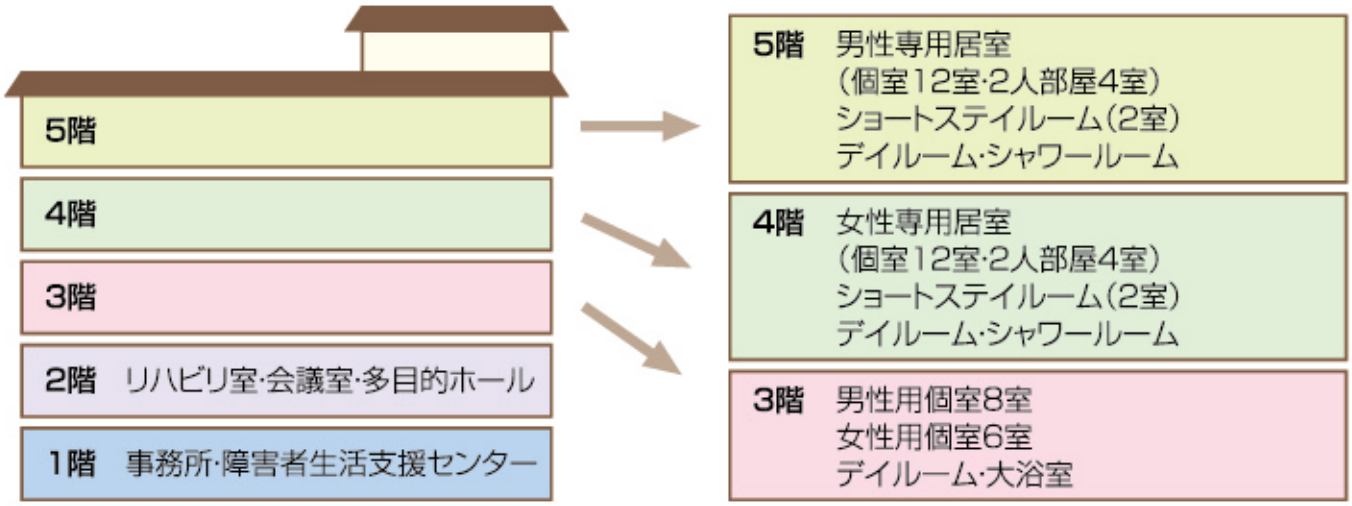
障害者は何らかの障害を持っているというだけで、一人の人間です。人として尊重されなければいけません。個人の自由な時間を満喫できるようにするためにはこれまでの4人部屋から個室ということも必要と考えました。また、生活の場ですから「施設」というより「大家族」で暮らすというイメージをもってすすめてまいります。この理念をもとに、同法人の特別養護老人ホーム第二さわらび荘でも先駆的に取り入れているユニットケアを新珠藻荘でも実現いたしました。これらの機能を生かし、お互い助け合い、また自分のできることは積極的にやっていただけるような環境をしっかりと整えてまいります。

新たな珠藻荘にむけての取り組み

障害者支援施設珠藻荘　委員会担当　副施設長　**田中　力**

珠藻荘では、新珠藻荘に向けて利用者生活小委員会を食事・入浴・排泄・日課及び職員勤務体制と4つの小委員会に分け定期的に検討を重ねています。

どの委員会も今のサービスの質の維持ではなく向上を目指し、楽しく暮らしていただくことに重きを置き話し合ってきました。職員一丸となり利用者の皆さんが安心して新たな場所で生活できるよう努めてまいります。



特集

～お年を重ねても自分らしく生活していくために～

解説 改正介護保険

2025年には高齢者人口がピーク（約3500万人）を迎え、それにともない認知症高齢者や一人暮らし、夫婦のみの世帯の増加がみられ、介護、医療、コミュニティの脆弱化等の問題を地域の中でどのように支援をしていくかが課題となってきます。

平成24年度は第5期介護保険事業計画が始まり、新しい施策へと移行していきます。

皆様に分かりやすく説明させていただきたいと思います。

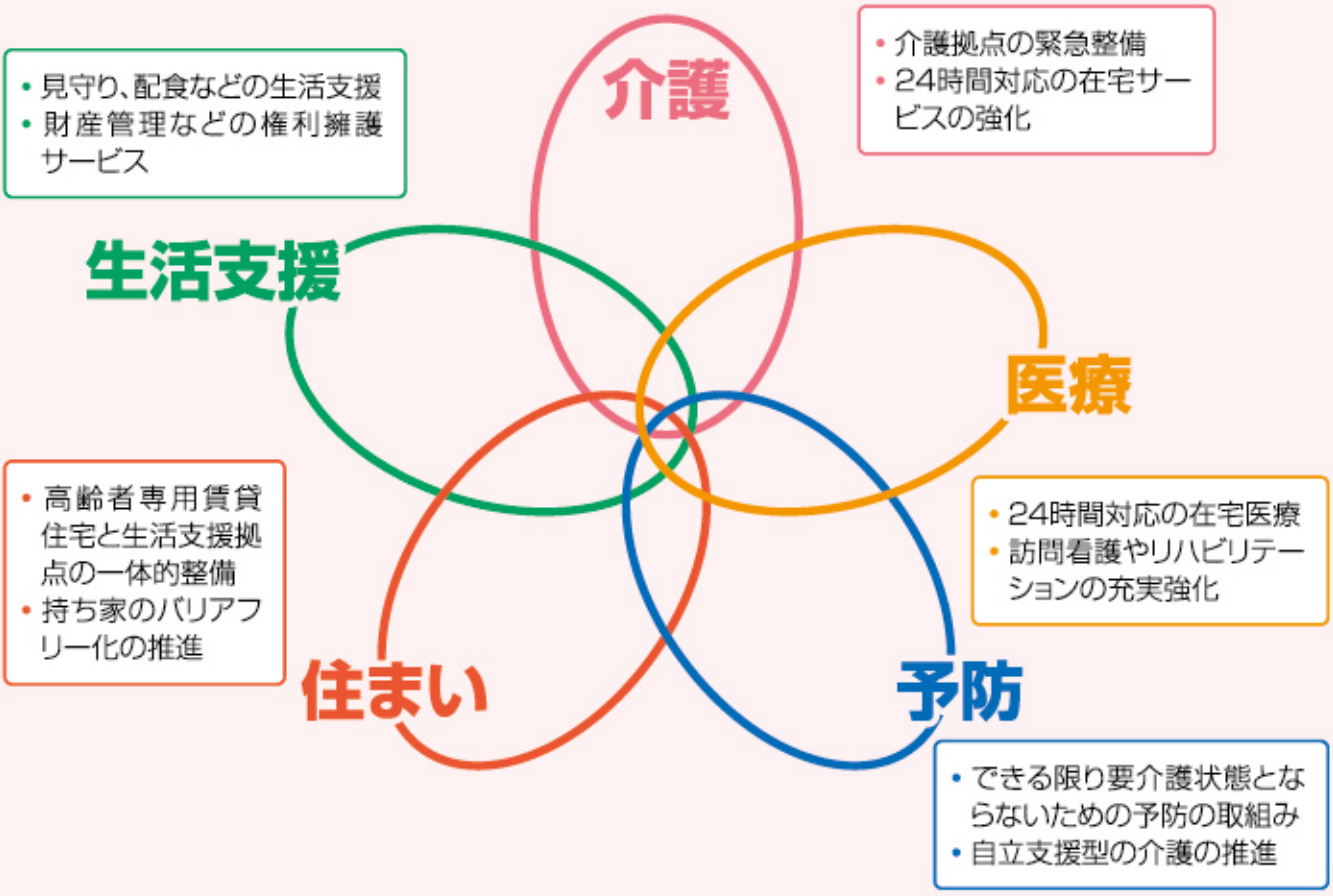
これからの介護保険の仕組み

平成二十四年度から始まる新しい介護保険では、住み慣れた地域で暮らせるように、次のサービスを組み合わせる「地域包括ケア」が行われます。

①医療
②介護サービス
③介護予防の推進
④生活支援サービス（見守り、配食、買物等の介護保険外サービス）
⑤高齢期になっても生活ができる住まいの整備

また、それぞれの地域で認知症支援策の充実が求められています。全国に約二一〇万人いると言われている認知症高齢者に対して、介護保険の利用による、本人、家族への支援、介護保険以外にも地域や見守り等が行われます。介護保険の利用には、次のページの手順により利用ができるようになります。

地域包括ケアシステム



介護サービス利用の手続き

介護保険の申請

各市町村 介護保険担当窓口 又は **地域包括 支援センター**

※事前に主治医に介護保険申請の相談をしてください。

要介護認定

訪問調査 ＋ 主治医意見書

審査・認定

結果通知

要介護1、2、3、4、5	要支援1、2	非該当
居宅介護支援事業所	地域包括支援センター	地域包括支援センター
ケアプラン作成	ケアプラン作成	●運動や脳の元気はつらつ教室への参加
介護サービスの利用	介護予防サービスの利用	

介護保険の申請・ご利用の相談は
地域包括支援センターまで
お問い合わせください。

ケアプランとは?

ケアプランとは、介護を必要とされる方や実際に介護をするご家族が、どのような生活を送りたいか、またその生活を送るために必要な援助は何かを明らかにし、それを解決するためのものです。

在宅や施設で生活をされる要介護、要支援の認定を受けている高齢者の生活支援を図ることを目的としています。

より良いサービスを提供するためには、利用される方を中心に、さまざまな職種の人間が協力してケアプランを立案、実行する必要があります。

ご自宅で受けられるサービス

ご家族

自宅で介護してゆきたい

本人

自宅で暮らしたい

在宅サービス

ご自宅で生活しながらご本人、ご家族の希望と必要なサービスを組み合わせて介護支援専門員がケアプランを立てます。

◎ご自宅で受けられるサービス

訪問介護(ホームヘルパー)・訪問入浴介護
通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)
短期入所生活介護(ショートステイ)・短期入所療養介護(ショートステイ)
福祉用具貸与・住宅改修　など

◎4月からは新たなサービスが創設されます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
複合型サービス(小規模多機能型施設と訪問看護の機能を有するサービス)

施設でのサービス

ご家族

自宅では介護できません…

各施設の中で、ご本人にとって必要な介護が何か、介護支援専門員がケアプランを立て、支援をしてゆきます。

居宅サービス

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
ケアハウス
有料老人ホーム　など

施設サービス

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
介護老人保健施設
介護療養型医療施設

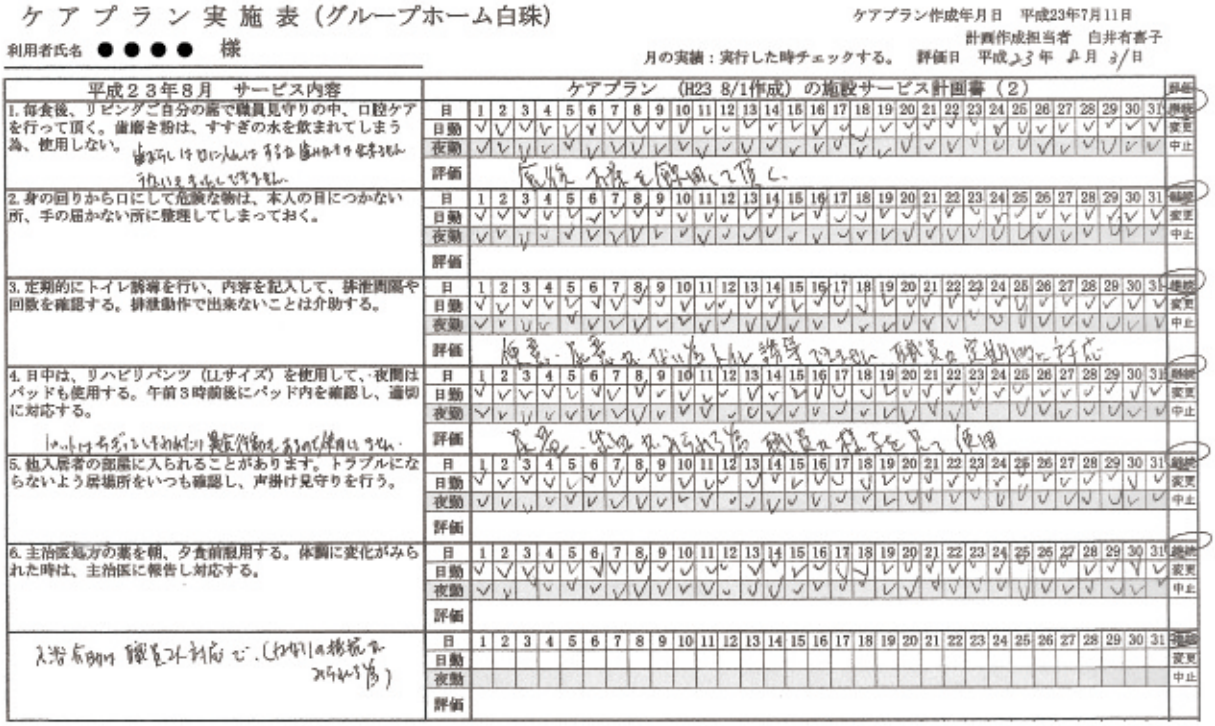
グループホーム白珠

ケアプラン実施表が評価

昨年、グループホーム白珠では「介護サービスの情報公表」と「外部評価」を受けました。
評価委員の方から、「様々な施設に伺いましたが、ケアプランを評価する書類で、使い易く、業務の負担にならず、毎日、一人ひとりの全てのケアプランを見直すことができる書類を初めて見ました。他事業所のケアマネジャーにも教えてあげたいと思います。」との評価をいただきました。

白珠のケアプラン実施表には、介護士が提供すべきサービス内容の全てが記載されています。A4サイズ一枚の書類に、1ヶ月間、毎日提供されたケアが確認できる仕組みになっており、日勤、夜勤者が確認しやすいように、確認欄に色付けがしてあります。また、ユニット9名のケア確認時間も5分と短時間で行うことができ、書類業務にかかる時間も少なくしています。

月末には、全入居者のケアサービスの評価を行い、プランの継続、変更、中止等を担当職員が中心となり評価を行います。評価後、ケアカンファレンスを行い、翌月1日からは、新ケアプランでサービスを提供していきます。



ケアプラン実施表（グループホーム白珠）

利用者氏名 ●●●● 様

ケアプラン作成年月日 平成23年7月11日
計画作成担当者 白井有喜子
月の実績：実行した時チェックする。 評価日 平成23年 6月 3/日

平成２３年８月 サービス内容	ケアプラン （H23 8/1作成） の施設サービス計画書（２）
1. 毎食後、リビングご自分の席で職員見守りの中、口腔ケアを行って頂く。歯磨き粉は、すすぎの水を飲まれてしまう為、使用しない。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
2. 身の回りから口にして危険な物は、本人の目につかない所、手の届かない所に整理してしまっておく。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
3. 定期的にトイレ誘導を行い、内容を記入して、排泄周期や回数を確認する。排泄動作で出来ないことは介助する。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
4. 日中は、リハビリパンツ（Lサイズ）を使用して、夜間はパッドも使用する。午前３時前後にパッド内を確認し、適切に対応する。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
5. 他入居者の部屋に入られることがあります。トラブルにならないよう居場所をいつも確認し、声掛け見守りを行う。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
6. 主治医処方の薬を朝、夕食前服用する。体調に変化がみられた時は、主治医に報告し対応する。	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 ✓ 変更
	夜勤 ✓ 中止
	評価
	日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 継続
	日勤 変更
	夜勤 中止
	評価

■施設でのケアプラン実施表の実際

ケアカンファレンスを行う中で職員から、「毎日確認することでケアプランが自然に頭の中に入ります。気付きがあった時には、表に記入することで、変化を見逃さず、プランもすぐに変更できるので大変便利です。評価後、全職員でケアカンファレンスを行うことで、意見が反映される良い書類だと思います。」と言った意見がでるようになりました。

白珠では引き続き、毎日のケアプランの評価を続け、一人ひとりに合わせたケアプランの作成をしていきたいと思っています。

徘徊高齢者捜索模擬訓練

～さわらび地域包括支援センター～

二月一日に、豊橋市徘徊・見守りSOSネットワークが効果的に運用できるかの検証を行うため、牛川校区を対象として徘徊高齢者捜索模擬訓練が行われました。

訓練では、認知症高齢者（役）が、行方不明になり牛川校区を徘徊しているという想定のもと、家族（役）から警察へ捜索願を出し、警察からの情報提供を受けたSOSネットワーク事務局（中央地域包括支援センター）は、徘徊の恐れのある認知症高齢者の心身の状態や特徴を予め記載しておいた「あんしん登録カード」をもとに、捜索依頼のFAXをコンビニやガソリンスタンド、金融機関等の捜索依頼機関（市内約230ヶ所）へ一斉送付しました。

コンビニやガソリンスタンド、デイサービス等に、徘徊高齢者（役）が立ち寄ると、店員や職員の方たちが声掛けを行いました。また、以前に認知症サポーター養成講座を受講した方や今日の訓練を知らなかった一般の市民の方からの声掛けもあり、嬉しいハプニングとなりました。

最後に、金融機関に立ち寄った際に、捜索依頼の出ている高齢者の情報と一致したことを確認した職員が、近くの牛川交番へ連れて行き、無事保護され、家族のもとへ送り届けられるという訓練内容でした。

訓練終了後、ネットワークをより良いものにするために、反省会を行い、意見交換が行われました。

さわらび地域包括支援センターでは、行政や地域の皆様と協力し、認知症高齢者が徘徊をしても、住み慣れた地域で生活が送れるようなお手伝いをしていきたいと思います。

（勝山）

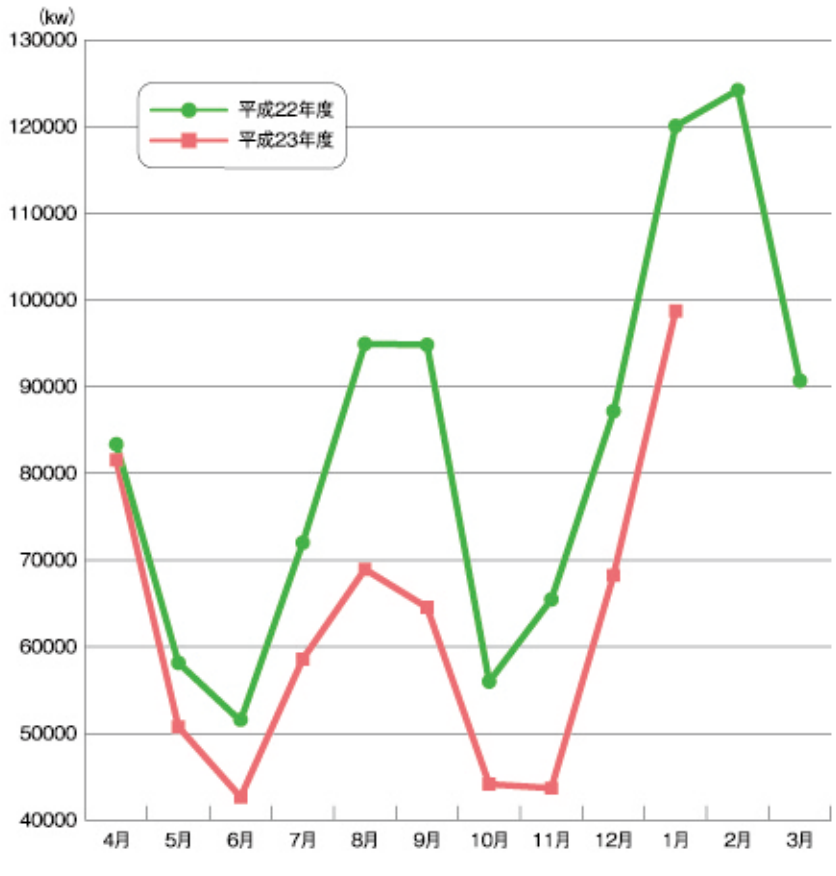
省エネ委員会の取組みについて

～特別養護老人ホーム　第二さわらび荘～

第二さわらび荘では、昨年三月の東日本大震災以降、職員でできることをとのことで、省エネ委員会を立ち上げて、省エネに取り組んでいます。結果前年度と比較して、平均すると二十％以上、月によっては三十％以上の省エネに成功しています。

平均要介護度が4以上の高齢者が生活をする場所ですので、適温を維持する等必要なことを行い、また、職員一同で省エネに対する意識を高め、節電に協力を続けていきたいと思います。

（東郡）



地域におけるボランティアの役割

～あかね荘障害者生活支援センター～

あかね荘障害者生活支援センターは、二月四日に開催された東三河ボランティア集会の分科会にシンポジストとして参加いたしました。

この集会は『絆』をテーマに、東三河でボランティアを実践されている個人・団体の皆様が交流・情報を得る機会として開催され、この会では、ろう者であり映像作家として活躍されている今村彩子さんの講演と作品『珈琲とエンピツ』が上映されました。コミュニケーションとは伝え方ではなく、相手に伝えたいという気持ちが大切であり、それが人と人とを繋げていくのだということがこの映画から伝わってきました。

次の分科会では、誰もが参加し共に支え合う地域作りや障がい者支援を通したボランティアの役割について、また地域住民の関わりについて意見を交換しました。「障がい」を気にして互いにどう関わってよいかわからない、そんな思いを捨てて、ただ普通に地域の中で挨拶を交わすところから始めることが、地域で繋がりを作る最も簡単で大切な第一歩であることを皆で共有しました。

支援センターとして福祉サービスの調整だけでは当事者の地域生活全てを支え切れないことは実感しています。ボランティアを含め地域の繋がりが深まることで、日頃の些細な問題解決や助け合いが生まれるのだと思います。ちょっとした繋がりから、『絆』が広がっていくことを期待したいと思います。

（石川）

全方向移動型車椅子の試作品の試乗会

～福祉村病院～

一月二十五日ジュゲム一階ロビーにて全方向移動型車椅子の試作品の試乗会が行われました。

さわらび会と豊橋技術科学大学は地元の企業と連携して次世代型の医療、福祉分野のロボットを研究、開発しております。今回は株式会社ケーイーアールが制作した全方向移動型車椅子を柿原清章代表取締役に持って来ていただき、実際使用してもらって乗り心地や使い勝手などを検証しました。

最新型の試作品の特徴は従来のものから小型化、軽量化を目指したもので、百キロを超えていた重量が八十キロ程度に改良されたそうです。

実際に試乗された患者様は「最初は使い勝手が解りにくかったけど、慣れてきたら非常に使いやすく乗り心地もまずまずで、僕のような弱い力でも思いどおりに車椅子が動いて乗っていて楽しかった。」と感想を言っておられました。

またこの車椅子には少しの力で思った方向に押せるパワーアシスト機能と、その場で旋回できる機能があり、坂道や狭い所で介助者に優しい作りとなっています。

今後もさわらび会は研究開発の方々に現場の声が反映されるよう、協力していきます。

（榊原）

俳句浪漫

直筆の書で季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之

白鷺が　子鴨従え　魚とり

水鳥は氷結していない限り、四季の区別無く自然な泳ぎをしているようである。この句は福祉村に近い梅田川での情景、満潮時で水嵩も増し水鳥の天下。一羽の白鷺に寄り添うが如く数羽の子鴨が水くぐりをしている。多分餌を捕っているのであろう。空を飛べる白鷺と飛べない子鴨、不思議な組み合わせだ。鳥の生態からみて、普段そんなに接点があるようにはみえない。それが恰も親子のように写るからおもしろい。人間の殺伐とした世界とは無関係な、平和で心安らぐひとときの流れである。

Vol. 48
relay column
さわらび会のわ

福祉村病院　第一病棟
介護士長
髙橋 梨衣

『今後の楽しみ』

先月、ついにアパート暮らしから、夢のマイホームへ引っ越しをしました。和モダンな家です。

家が建つまでは、長いようで、短かったです。休みの日もハウスメーカーとの打ち合わせがあり、体がなかなか休まらない時も…。

いざ家ができると「おーっ」となりました。近所の人も「若い人達が来てくれてうれしい」と笑顔で言ってくれました。

もう一つの楽しみは、娘が四月から小学一年生になることです。以前は「友達ができるかな」と心配していましたが、引っ越した日には、近所の女の子四人と仲良く遊んでおり、そんな心配もなくなりました。娘が早くピカピカのランドセルを背負って、元気に学校に通う日が待ち遠しいです。

次回は、福祉村障害福祉サービス事業所しろがね生活支援員　福山悦道さんです。

第68回

いかり先生の“お遍路さん”

―四国八十八ヶ所霊場めぐり―

●身体の中の三匹の虫

福祉村病院 副院長　伊苅 弘之

第七十七番道隆寺から第七十八番仏光山郷照寺まで約七キロ、徒歩で二時間、車で十五分。

郷照寺は丸亀市と坂出市の間の宇多津港を見渡せる青野山の北麓にある。駐車場から石段を登って山門をくぐると急に視界が開け瀬戸内海が青く輝いていた。境内には玉砂利がひいてあったが歩くと音がでるので子供たちは大喜びだ。境内からは瀬戸大橋が見える。

四国霊場の寺は八十ヶ寺以上のほとんどが真言宗だが、臨済宗、曹洞宗といった禅宗の寺が二つ、天台宗の寺が二つある。この寺は、ただひとつだけの時宗の寺だ。七二五年に行基が開基した頃は道場寺と言っていたが、一二八八年に一遍上人が再興して江戸時代になり宗派は時宗となり郷照寺となった。「一遍上人の踊り念仏ってどうやってするのかな」と子供たち。

本堂の近くには庚申堂があった。庚申堂は病魔を除くのに霊験があると地元では信仰が厚い。本尊は六本の手を持つ青面金剛。もともとは庚申信仰に由来しているらしい。中国の道教に「三尸説」というものがあり、三尸は三虫とも言う。人は生まれた時から体内に三匹の虫がいる。道士の姿の上尸、獣の姿の中尸、牛の頭に人の脚をした下尸、どれも六センチほどの大きさだ。六十日に一度くる庚申の日の夜に眠ってしまうと、三匹の虫が身体から抜け出して天帝にその人の罪悪を告げて、その人の命を縮めてしまうという伝説だ。それゆえ庚申の日の夜は眠らないようにするという習慣が作られていく。「そんな虫が身体の中にいるの、気持ち悪い。」と小六の娘。「いるわけないでしょ」と高一の娘。

庚申は十干と十二支の組み合わせで、庚申となる。庚申の日は六十日に一度やってくるが、陰陽五行説では、庚も申も陽の金で同気が重なるとして不吉だ。何もしないで眠らずにいるのが難しいためか、平安時代になると貴族の間に庚申の夜はみなで宴会をする「庚申御遊」が広まり、やがて武士や庶民の間にも「庚申待」とか「月待ち」などが開かれた。ここから定期的に夜に集まる常会という風習になったとも言われる。「これからは、二か月に一回の庚申の夜は徹夜で宴会して、みんなで長生きしようね」と私。みな一斉にブーイング。

素人歌舞伎保存会 第二十六回定期公演

日時　平成二十四年三月十八日
十一時開演（十時開場）

場所　豊橋市公会堂

開演　森澄　保存会会長（※1）の口上
佐原光一　豊橋市長あいさつ

演題　第一幕
《寿式三番叟》
第二幕
《新版歌祭文》（野崎村の場）
第三幕
《三人吉三巴白波》（※2）
（大川端庚申塚の場）
さわらび太鼓演奏（明日香）
第四幕
《碁太平記白石噺》
（新吉原揚屋の場）

※1 さわらび会理事
※2 さわらび会職員の西崎弘雅さんと野崎悦子さんが出演を予定しています。

さわらび Diary 日記

H24.1.16～2.15

◆福祉村病院・ジュゲム

1月16日 愛知県認知症介護実践者研修会（愛知県社会福祉会館）にて伊苅弘之副院長が「認知症の医学的理解」について講義
17日 感染対策委員会
20日 歳末たすけあい義援金配分委員会（社会福祉センター）に理事長出席
23日 豊橋のキャラバンメイト養成研修会（あいトピア）にて伊苅弘之副院長が「認知症の基礎知識と対応方法」について講義
24日 技科大が研究開発した電動車イスの発表会をジュゲム玄関ホールで行った
25日 医療安全委員会
26日 名古屋市社会福祉協議会主催の認知症ケア向上研修会（名古屋市総合社会福祉会館）にて伊苅弘之副院長が「認知症介護について～疾患別特徴とケア方法」について講義
27日 橋詰先生によるCPC（理事長出席）
28日 症例カンファレンス
30日 第7回東三河在宅医療勉強会（ホテルアークリッシュ豊橋）にて伊苅弘之副院長が「認知症の外来診療～私のやっていること」について講演
2月8日 早蕨編集会議（理事長出席）
8日 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会（あいトピア）にて伊苅弘之副院長が助言
13日 全国老人福祉施設協会主催セミナー（東京）に理事長出席（～14日）
14日 ジュゲム幹部会

◆さわらび荘

1月17日 愛老協施設長会議（施設長　名古屋）
県社協施設長研修（施設長　名古屋）
18日 愛介連東三河ブロック研修（白井秀・日下部・松井・安藤　ライフポートとよはし）
20日 生活・介護支援サポーター養成研修（施設長・松下・白井秀・勝山・中尾幸　石巻校区市民館金田分館他　～2月24日）
キャラバンメイト養成研修（白井有・白井秀・小久保　あいトピア）
23日 ケアマネ部会（白井秀　名古屋）
25日 市介護保険認定審査会（施設長　市役所）
認知症サポーター養成講座（松下・白井秀・勝山・安藤・中尾幸　青陵地区市民館）
29日 介護支援専門員研修交流会（勝山　ライフポートとよはし）
青葉の家運営推進会議（松下　豊橋ケアセンター）
30日 白珠運営推進会議
31日 圏域ケア会議（松下・白井秀・勝山　青陵地区市民館）
2月1日 豊橋市徘徊・見守りSOSネットワーク徘徊高齢者捜索模擬訓練（松下・白井秀・勝山　牛川校区周辺）
2日 愛老協グループホーム研修（後藤　名古屋）
7日 認知症フォーラム（白井秀・白井有・中坪　ライフポートとよはし）
8日 市介護保険認定審査会（施設長　市役所）
ユニットリーダー研修（尾上　～15日）
15日 職場研修担当研修（渡邊憲　名古屋）

◆第二さわらび荘・カサ デ ローザ

1月17日 愛老協施設長会議（施設長　名古屋）
全老施協正副会長委員長会議（施設長　東京）
24日 老人ホーム三河部養護施設長会議（施設長　碧南）
県福祉人材センター打ち合わせ（長坂　名古屋）
県介護支援専門員協会理事会（長坂　名古屋）
26日 介護認定審査会（長坂　市役所）
2月1日 県社協中期計画推進会議（施設長　名古屋）
愛老協役員会（施設長　名古屋）
7日 認知症県民フォーラム（長坂・松下・山本早・山本勝・河合　ライフポートとよはし）
8日 市住宅マスタープラン策定委員会（施設長　市役所）
11日 県福祉人材センター就職セミナー（長坂　名古屋）

◆珠藻荘

1月16日 新年祝賀会
18日 自治会役員会
24日 愛知県身体障害者療護施設職員研修会（石田・北澤健・浅岡　ハートランド小牧の杜）
25日 自治会
福祉施設職員レクリエーション講座（山本雅　あいトピア）
2月1日 まちづくり出前講座講師（田中　植田小学校）
2日 自立支援協議会医療ニーズ検討会（松井伸・玉城　豊橋職員会館）
3日 豆まき
7日 総合相談支援センター会議（施設長　市役所）
社会福祉法人会計事務研修会（黒柳　愛知県社会福祉会館）
8日 福祉施設職員レクリエーション講座（岡田　あいトピア）
14日 愛知県栄養士会社会福祉協議会研修会（花井　名古屋）
15日 レストランたまも亭
まちづくり出前講座講師（田中　玉川小学校）

◆若菜荘

1月17日 荘内勉強会
愛老協施設長会議（施設長　名古屋）
18日 全軽協臨時役員会（施設長　東京）
19日 健康・運動教室
24日 喫茶なかよし
25日 初詣
30日 全老協軽費ケアハウス研修（施設長　神奈川　～31日）
31日 各階別会議
2月1日 愛老協役員会（施設長　名古屋）
2日 健康・運動教室
軽費セミナー（山田　大阪）
3日 豆まき
6日 若菜会役員会
食生活会議
9日 軽費ケアハウス研修（施設長　名古屋）
14日 懇談会
喫茶なかよし
県社協職場研修のすすめ方（施設長　名古屋）
15日 柴田先生講話

◆あかね荘

1月17日 職場研修「個別支援計画について」
20日 スーパーバイザー養成研修（中陳　名古屋　27日）
21日 弥生町防災委員会（伊藤）
22日 田原障害者生活支援センター　調理教室
TIDテニス練習日（石川）
24日 田原障害者生活支援センター　田原市自立支援協議会　事務局会議（2月14日）
田原障害者生活支援センター　図工教室
26日 生活支援部会全国大会（村越・永瀬・石田　名古屋　～27日）
30日 相談支援専門員協会インターンシップ研修（鈴木巳　長野県　～2月2日）
2月1日 豆まき
2日 医療ニーズ部会（石川）
4日 医療的ケア研修（坂上　名古屋）
東三河ボランティアの会（石川）
TIDテニス練習日（鈴木巳）
7日 社会福祉法人会計事務研修会（光部　名古屋）
研修「自殺・うつ予防対策」
就労支援専門部会連絡会（鈴木巳）
9日 委託事業所連絡会（石川・鈴木巳）
11日 語りべの会
田原市フォーラム（石川・伊藤・鈴木巳）
14日 職場研修の進め方（村越・高橋　名古屋）
豊橋市保健所管内栄養士会（小田　豊橋市保健所）
豊橋養護進路相談（鈴木巳）

◆明日香

1月16日 東三河社会就労センター連絡協議会療育研修会（末松・河合岳　もくせいの花）
17日 職場における人材育成の促進化研修（施設長　名古屋）
19日 豊橋市保健所管内栄養士会議（菅沼　豊橋市保健所）
20日 回診日
スーパーバイザー養成研修（鈴木　名古屋）
社会就労センター部会研修部会（末松　名古屋）
発達障害児の不器用さと感覚の問題との関わり方（林　ほいっぷ）
くくむガーデン試食販売
21日 クラブ活動日
27日 スーパーバイザー養成研修（鈴木　名古屋）
JAあぐりパーク食彩村試食販売
2月2日 愛知県指導監査
31日 社会福祉法人会計事務研修会（施設長　名古屋）
3日 回診日
くくむガーデン試食販売
7日 県社協施設委員会社会福祉施設長セミナー（施設長　名古屋）
社会福祉法人会計事務研修会（藤井陽　名古屋）
就労支援事業所連絡会（鈴木　さくらピア）
8日 デンソー販売
10日 自治会
利用者工賃日
JAあぐりパーク食彩村
試食販売
13日 豊橋市保健所管内栄養士会議（菅沼　豊橋市保健所）

◆しろがね

1月16日 TFM合唱団来荘
20日 スーパーバイザー養成研修（福山　名古屋）
24日 療育支援研修（本間　岡崎）
27日 スーパーバイザー養成研修（福山　名古屋）
30日 TFM合唱団来荘
2月1日 災害時伝言ダイヤル訓練
4日 普通救命講習
5日 施設職員のための連続セミナー（福山・山田・朝倉　名古屋）
7日 県社協施設委員会社会福祉施設長セミナー（施設長　名古屋）
さなえ会おやつ奉仕
TFM合唱団来荘
13日 災害時伝言ダイヤル訓練
15日

◆各施設共通

1月17日 障害者担当会議
23日 栄養士会議
2月6日 障害者担当会議
13日 全国老人福祉施設協会主催セミナー（～14日）

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成24年1月15日～2月14日

東京都千代田区九段南四丁目8－16	UIゼンセン同盟化学部会	336,500円
市内牧野町91	小松ウメ氏	5,000円
市内東雲町47	梅村敏夫氏	16,000円
新城市南畑74	光田屋㈱	20,000円
市内入舟町21	㈱三恵薬品	20,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモクランド	10,000円
市内小池町36－1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11－3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9－9	林　昭氏	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内萱町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50－1	㈲東三らぼセンター	10,000円
市内問屋町15－5	㈱スズケン	10,000円
市内東田町154	㈾竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1－17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海㈱	10,000円
市内野依町字山中19－14	福祉村病院職員有志	3,000円
豊川市大橋町四丁目127	㈱厨林堂	10,000円
	匿名希望氏	20,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。

計　541,500円

現在までにご寄附いただきました金額は

842,063,979円

●福祉用具紹介のコーナー

ニュー4ポイント（ヨン）

4つの支点が角度に合わせて動き、スロープや階段など滑りやすい所の路面をしっかり捕えます。自立して置けるので、ちょっと杖を離して両手を使いたいときや、外出先で杖を立てかける場所がないときなどに活躍します。

※介護保険の福祉用具レンタル対象です。
レンタル事業所によって価格は異なりますのでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

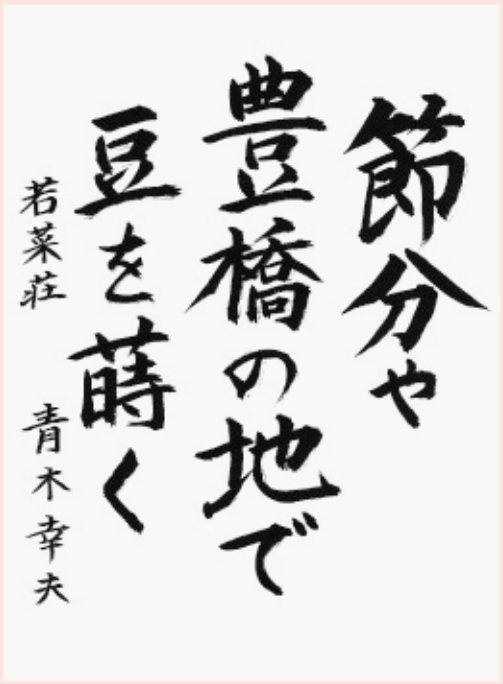
福祉村指定居宅介護支援事業所　☎(0532)46-3566
さわらび指定居宅介護支援事業所　☎(0532)54-7377
福祉村病院訪問看護部　☎(0532)46-7511㈹
福祉サービス株式会社　☎(0532)66-1011
（福祉村地域包括支援センター　居澤）

NHKにて紹介されました
～軽費老人ホーム 若菜荘～

2月7日のNHK総合チャンネルの「ほっとイブニング」にて事故のあった福島第一原発から10キロ圏内のため、豊橋に避難され若菜荘に入所された青木幸夫さんが紹介されました。

現在は趣味の将棋や書道などを楽しみながら有意義に日々を過ごされていますが、奥さんの一周忌とのこともあり、思い出の曲である「あざみの歌」をピアノで演奏されたり、福島へ奥さんのお墓参りに行きたいことなど語られました。

いつか帰れる日を願いそれまでこの地で頑張ろうという前向きな姿が放送されました。（坂牧）



地域密着型サービス事業所

「あさかげ」「カサブランカ」ご利用者を募集しています

担当　長坂・東都

お問い合わせ先▶☎0532-37-1209

特別養護老人ホーム第二さわらび荘

お礼コーナー　ありがとうございました

※は豊橋善意銀行を通して

▼**株式会社　光陽様**　冷凍うどん寄贈※
（さわらび荘・第二さわらび荘・明日香）
▼**藤井まりの様**　家具寄贈※（さわらび荘）
▼**杉本貞夫様**　マッサージ機1台寄贈※（若菜荘）

山本左近特別寄稿

東日本大震災からもうすぐで一年が経とうとしています。

2011年3月11日という日にちは世界が忘れることはないでしょう。世界各国のニュースでも日本の地震の報道一色でした。『Japan disaster』と日本での大地震、津波による被害を伝えていましたし、その後は原発の問題を大きく取り上げていました。

私はニュースを知った時からその次の日まで特に何もできず、パソコンから出来る限りの情報を収集して経緯を見ていました。何かしなきゃ!と強く思えば思うほど、現実的には何も出来ない無力さにもどかしさや虚無感を覚えていました。

それでも、少しずつ正気を取り戻し、今自分にできることは何だろうと自問しF1ドライバーが集まるGDPAという組織に連絡し、会長であったバリチェロ選手と色々な案をメールでやり取りし、開幕戦のオーストラリアでF1ドライバー全員から日本へメッセージを伝えるという企画を提案したところ、全員の承諾を得る事ができたので、世界中のF1を放送しているメディアを通じて日本語で日本にメッセージを伝えることができました。また歌手のGACKTさんの呼びかけで街頭募金も実施しましたし、日本のモータースポーツ界からはSAVE JAPANという支援団体もできあがりました。

また個人、団体関わらず多くの人々が、被災された方々を助けようという気持ちが表れた動きが数多くありました。

そういうことからも分かるように、未曾有の大災害の中で私たちは、改めて、みんなで助け合うことの大切さを日本人全体で共鳴できた年でもあったと思います。

一年たった今でも被災されて大きな問題を抱えている方々はまだ大勢いるだろうし、解決が困難な問題もたくさんあります。そして、世界は広く、世界中に困っている人々は数多くいるのです。

私たちの「みんなの力で、みんなの幸せを」という、さわらび会の基本理念を強く意識をし、さらに広げて、より多くのみんなで助け合い、より多くのみんなで幸せを分かち合えるような社会を、みんなで作っていきましょう。

20世紀が戦争と大量消費の時代だとしたら、21世紀は福祉や共存、共有という意識がより大切な時代になってくのではないでしょうか。

編集後記

窓を開けると何処からか甘く凛とした香りが漂ってきます。梅の香りです。春が来ました。日々を何事も無く過ごせる幸せに感謝です。

一年前の東日本大震災後、日本は大きく変わりました。人と人とがつながる社会へ。一方変わらないものの一つに、現在未だに収まらない原発事故により全国で停止中の原発の再稼動について論議されています。YouTubeにアップされている『絶対原子力戦隊スイシンジャー』という風刺動画、是非御覧になり議論していただければと思います。

さて、今号は介護保険とケアプランについての特集です。この4月から改正される介護保険は、どのような考え方に基づいて、どのようなサービスが提供されるのか、また新しく始まるサービスには何があるのか、イラストを中心に分かりやすく取り上げました。また、施設で行われているサービスではケアプランがどの様に活用されているのか、実際のケアプランを御覧になりながら読んでいただければ幸いです。(谷)

【表紙絵】「ひな祭り」平木場郁央(明日香利用者)

●特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2

●グループホーム白珠
☎(0532)66-0082

●地域密着型サービス事業所 常盤
☎(0532)62-3370

●特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
●ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532)37-1209

●軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532)48-1138

●障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532)47-1050

●障害者支援施設 あかね荘
☎(0532)48-2825

●障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532)46-6579

●福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532)48-1032

●福祉村病院
☎(0532)46-7511

●福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532)46-7501

●福祉コンビニ(東雲町)
☎(0532)69-5666

●第二福祉コンビニ弥生
☎(0532)38-9090

●第三福祉コンビニ赤羽根
☎(0531)45-3828

充実した医療と福祉
みんなの力で みんなの幸せを
社会福祉法人 医療法人 さわらび会
理事長 山本 孝之

さわらび
2012年3月1日発行 季刊 第467号 毎月1日発行
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
編集責任者●谷さゆり 印刷●共和印刷㈱ 定価●100円